

横浜市立大学データサイエンス学部履修規程

制 定 平成 30 年 4 月 1 日 規程第 7 号

最近改正 令和 2 年 11 月 2 日 規程第 53 号

(目的)

第 1 条 この規程は、横浜市立大学学則（以下「学則」という。）及び横浜市立大学データサイエンス学部通則（以下「通則」という。）に基づき、データサイエンス学部（以下「本学部」という。）における授業科目の履修などについて必要な事項を定めることを目的とする。

(専門科目の履修方法)

第 2 条 通則第 2 条及び第 9 条に規定する、本学部の授業科目及び卒業要件は、別表のとおりとする。

(履修申請)

第 3 条 本学部の学生は、学期の始めの定められた期間内に、その学期中に履修しようとする授業科目を所定の手続きにより申請しなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、前期においては、後期の科目も含め申請することができる。

3 前 2 項の規定にかかわらず、4 年次生は、学年の始めの定められた期間内に、その学年中に履修しようとする授業科目を申請しなければならない。

4 やむを得ない理由により、所定の期間内に履修申請を行うことができない場合は、その理由を付してデータサイエンス学部長（以下「学部長」という。）に届け出なければならない。

(履修申請の変更)

第 4 条 定められた期間を過ぎてからの履修申請内容の変更は、原則として認めないものとする。

2 前項の規定にかかわらず、次の各号に定める場合は、所定の期間内に履修内容の変更を申請することができる。

(1) 卒業又は進級にかかわる科目で当該学期に単位を取得しないと卒業又は進級が不可能となる場合

(2) 教員免許状取得に必要な科目で次学期以降の履修が不可能な場合

(3) 履修の取り消しのみの変更の場合

3 前項第 3 号において、取り消すことができる授業科目は 2 科目 6 単位以内とする。ただし、「Practical English」及び「教養ゼミ」は取り消すことができない。

4 第 2 項の規定にかかわらず、学部長がやむを得ない理由があると認めた場合は、所定の期間を経過後も履修の取り消しの申請をすることができる。その場合においては、前項の規定は適用しない。

5 履修内容の変更の可否については、教務委員会の議を経て、学部長が決定する。

(履修の制限)

第 5 条 次の各号に定める授業科目については、履修することができない。

- (1) 履修登録していない授業科目（履修登録手続きに不備又は誤りがあった場合も同様とする。）
 - (2) 同一授業時間に開講されている授業科目のうち一方
 - (3) 既に単位を修得した授業科目
 - (4) クラス指定のある科目の指定以外のクラスでの履修
 - (5) 履修要件を満たしていない授業科目
- 2 専門領域演習及び卒業研究の履修は、各学期1科目を原則とする。ただし、休学を伴わない留学など、学部長が特別の事情があると認めた場合は、同一の学期に2科目を履修することができる。

（試験）

第6条 本学部における試験は次のとおりとする。

- (1) 各学期末に行う試験
 - (2) 前号以外に授業担当者が不定期に行う試験（実技・実習を含む）
 - (3) 論文（レポート）その他による考査
- 2 履修登録を行っていない授業科目は、試験を受けることができない。

（追試験）

第7条 通則第7条第3項に規定する追試験の受験を申請できる病気その他やむを得ない理由とは、次のとおりとする。

- (1) 天災又は自宅の火災
 - (2) 2親等以内の親族の危篤又は死亡
 - (3) 交通機関の30分以上の遅延又はストライキ
 - (4) 本人の病気又はケガ
 - (5) 裁判員制度による裁判員（候補者を含む）に選出されたことによる裁判所出頭
 - (6) 教員免許状の取得にかかる教育実習及び介護等体験などへの参加
 - (7) 横浜市内大学間単位互換先の試験との日程重複
- 2 追試験の受験を希望する学生は、当該試験終了後1週間以内に追試験の受験を申請しなければならない。ただし、当該試験終了1週間後にあたる日が教育推進課の窓口休業日の場合は、最後の窓口開設日までとする。
- 3 追試験の対象は、前条第1項第1号に規定する「各学期末に行う試験」とする。
- 4 追試験の受験の可否については、学部長が決定する。

（試験における不正行為）

第8条 学生が試験において不正行為を行った場合は、学則第34条に規定する懲戒処分の対象とするとともに、次に定めるいずれかの教務上の措置をとり、学籍簿にも記載する。

- (1) 当該学年で履修した全ての科目を零点とする。
- (2) 当該学期に履修した全ての科目を零点とする。
- (3) 演習科目、実験科目、実習科目を除く当該学期に履修した全ての科目を零点とする。
- (4) 当該学期に履修した科目のうち全ての期末教場試験科目を零点とする。
- (5) 当該科目を零点とする。

2 筆記試験において、次の各号のような状況があるときは不正行為があったものとみなす。

- (1) 許可された以外の物を参照したとき
- (2) 本人に代わって他人が受験したとき
- (3) 答案用紙を試験場外に持ち出したとき
- (4) その他、監督者による不正行為に関する具体的な注意に反したとき

3 論文及びレポートにおいて、次の各号のような状況があるときは不正行為があったものとみなす。

- (1) 他の者が作成した論文及びレポートを提出したとき
- (2) 出典を明記しないで引用したとき
- (3) 引用箇所と自分の文章を区別せず引用したとき
(公欠)

第9条 学生が次の各号に掲げる事由で授業を欠席する場合は、届出書及び証明書を提出することにより、公欠として取り扱い、授業に出席したものとみなす。

- (1) 天災又は自宅の火災
- (2) 2親等以内の親族及び配偶者の危篤又は死亡
- (3) 交通機関の30分以上の遅延又はストライキ
- (4) 学校保健安全法施行規則第18条に規定する伝染病を発症した場合（ただし、症状により医師が伝染の恐れがないと認めたときは除く）
- (5) 裁判員制度による裁判員（候補者を含む）に選任されたことにより、裁判所に出頭した場合
- (6) 教員免許状の取得にかかる教育実習及び介護等体験などに参加した場合
- (7) その他、学部長が認めた場合

2 前項第2号に定める事由により公欠として取り扱うことができる日数は、1親等の親族及び配偶者の死亡の場合は7日間以内、2親等の親族の死亡の場合は5日間以内とし、いずれも土曜日、日曜日及び祝日を含めた連続する日数で取り扱うものとする。

なお、危篤の場合も同様の取り扱いとし、提出された届出書及び証明書に基づき、5日間又は7日間を超えない範囲で公欠として取り扱う日数を算定するものとする。

附 則（平成30年規程第7号）

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平成31年規程第23号）

（施行期日）

1 この規程は、平成31年4月1日から施行する。ただし、改正後の別表のうち、共通教養科目「特別講座」については、平成30年4月1日から適用する。

（経過措置）

2 平成31年3月31日現在に在学する学生に係る教職専門科目については、なお従前の例による。

附 則（令和 2 年規程第 9 号）

この規程は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附 則（令和 2 年規程第 52 号）

この規程は、令和 2 年 11 月 2 日から施行する。ただし、改正後の別表については、平成 30 年 4 月 1 日から適用する。

別表
全学開放科目

分類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
全学開放科目 共通教養科目	総合講義	2	1	総合講義(データサイエンス入門)必修、総合講義のうち、地域志向科目から2単位選択必修、8単位まで卒業要件に算入
	情報倫理	2	1	必修
	教養ゼミ	4	1	必修
	基礎ゼミ	2	1	
	Practical English	3	1	必修
	Advanced Practical English I	2	1・2・3・4	
	Advanced Practical English II	2	1・2・3・4	
	Advanced Practical English III	2	1・2・3・4	
	Advanced Practical English IV	2	1・2・3・4	
	Advanced Practical English V	2	1・2・3・4	
	Advanced Practical English VI	2	1・2・3・4	
	Advanced Practical English VII	2	1・2・3・4	
	多文化交流ゼミ	2	1	
	情報コミュニケーション入門	1	1	
	プログラミング基礎	1	1	
	マルチメディア表現基礎	1	1	
	情報検索基礎	1	1	
	データ分析基礎	1	1	
	歴史学入門	2	1	
	社会学入門	2	1	
	地理学入門	2	1	
	心理学入門	2	1	
	文化研究入門	2	1	
	思想研究入門	2	1	
	文学研究入門	2	1	
	政治学入門	2	1	
	行政学入門	2	1	
	国際社会論入門	2	1	
	経済学入門 I	2	1	
	経済学入門 II	2	1	
	簿記入門 I	2	1	
	簿記入門 II	2	1	
	経営学入門 I	2	1	
	経営学入門 II	2	1	
	法学入門	2	1	
	民法入門	2	1	
	社会統計学 I	2	1	
	社会統計学 II	2	1	
	微分と積分	2	1	
	微分と積分演習	1	1	
	行列とベクトル	2	1	
	行列とベクトル演習	1	1	
	力と運動	2	1	
	力と運動演習	1	1	
	電気と磁気	2	1	
	電気と磁気演習	1	1	
	化学結合と構造	2	1	
	環境の基礎化学	2	1	
	生命の機能	2	1	
	自然科学基礎実験 A	1	1	
	自然科学基礎実験 B	1	1	
	自然科学基礎実験 C	1	1	
	統計と確率	2	1	
	リメディアル講座	0	1	
	生物学入門	2	1	
	グレートブックスセミナー	2	1	
	英米文化理解 A	2	1	
	英米文化理解 B	2	1	
	心を科学する	2	1	
	Introduction to Psychology	2	1	
	Topics in Modern Psychopathology	2	1	
	日本史の方法	2	1	
	世界史の方法	2	1	
	倫理学	2	1	
	英語学 A	2	1	
	英語学 B	2	1	
	英米文学 A	2	1	
	英米文学 B	2	1	
	日本事情 I	2	1	
	日本事情 II	2	1	
English Grammar for Higher Education	2	1		
日本国憲法	2	1		
反応の化学	2	1		
生体分子と細胞	2	1		
遺伝と進化	2	1		

分類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
全学開放科目 共通教養科目	科学史	2	1	
	病気を科学する	2	1	
	課題探究科目	2	1	
	ドイツ語教養基礎 I	3	1・2・3・4	
	ドイツ語教養基礎 II	3	1・2・3・4	
	ドイツ語教養実践	3	2・3・4	
	ドイツ語中級	1	2・3・4	
	フランス語教養基礎 I	3	1・2・3・4	
	フランス語教養基礎 II	3	1・2・3・4	
	フランス語教養実践	3	2・3・4	
	フランス語中級	1	2・3・4	
	中国語教養基礎 I	3	1・2・3・4	
	中国語教養基礎 II	3	1・2・3・4	
	中国語教養実践 A	1	2・3・4	
	中国語教養実践 B	1	2・3・4	
	中国語教養実践 C	1	2・3・4	
	中国語中級	1	2・3・4	
	韓国・朝鮮語教養基礎 I	3	1・2・3・4	
	韓国・朝鮮語教養基礎 II	3	1・2・3・4	
	韓国・朝鮮語教養実践 A	1	2・3・4	
	韓国・朝鮮語教養実践 B	1	2・3・4	
	韓国・朝鮮語教養実践 C	1	2・3・4	
	韓国・朝鮮語中級	1	2・3・4	
	スペイン語教養基礎 I	3	1・2・3・4	
	スペイン語教養基礎 II	3	1・2・3・4	
	スペイン語教養実践	3	2・3・4	
	スペイン語中級	1	2・3・4	
	日本語 I-1	2	1	
	日本語 I-2	2	1	
	日本語 II-1	2	1	
	日本語 II-2	2	1	
	キャリア形成実習	1	1	
	福祉施設実習	1	1	
	健康スポーツ実習	1	1・2・3・4	
	環境保全農業実習	1	1・2・3・4	
	自然体験実習	1	1・2・3・4	
	アクティブ・プランニング実習	1	1・2・3・4	
	海外研修 A	2	1・2・3・4	
	海外研修 B	2	1・2・3・4	
	特別講座	2	1・2・3・4	
	地域情報化とまちづくり	2	3	
	ミクロ経済学 I	2	2	
	ミクロ経済学 II	2	2	
	マクロ経済学 I	2	2	
	マクロ経済学 II	2	2	
	経済統計 I	2	2	
	経済統計 II	2	2	
	経営財務 I	2	3	
	経営財務 II	2	3	
	財務諸表分析 I	2	2	
	財務諸表分析 II	2	2	
	経済政策 I	2	2	
	経済政策 II	2	2	
	金融論 I	2	3	
	金融論 II	2	3	
	財政学 I	2	3	
	財政学 II	2	3	
	計量経済学 I	2	3	
	計量経済学 II	2	3	
	国際金融論 I	2	3	
	国際金融論 II	2	3	
	公共経済学	2	3	
	電磁気学	2	2	
	有機物の化学	2	2	
	周期表の化学	2	2	
	地学概説 I	2	2	
	自然科学数学 A	2	2	
	自然科学数学 B	2	2	
	自然科学数学 C	2	2	
	自然科学数学 D	2	2	
基礎量子力学	2	2		
基礎統計力学	2	2		
計算分子化学	2	2		
地震学	2	3		
生命情報科学	2	3		
特講	2	2		
卒業に必要な単位数(必修科目を含む)				38~50単位

データサイエンス学部

1 卒業に必要な全学開放科目のうち、卒業要件となる科目

対象となる全学開放科目	卒業要件
総合講義（データサイエンス入門）、情報倫理、教養ゼミ、Practical English	11単位必修
総合講義のうち、地域志向科目	2単位選択必修

2 専門科目

分類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
専門科目	線形代数学Ⅰ	2	1	必修
	線形代数学Ⅱ	2	1	必修
	微積分学Ⅰ	2	1	必修
	微積分学Ⅱ	2	1	必修
	線形代数学実習Ⅰ	1	1	必修
	線形代数学実習Ⅱ	1	1	必修
	微積分学実習Ⅰ	1	1	
	微積分学実習Ⅱ	1	1	
	集合・位相	2	1	必修
	情報リメディアル	0	1	必修
	コンピュータ演習	2	1	必修
	代数学	2	2	
	プログラミング演習Ⅰ	2	2	必修
	プログラミング演習Ⅱ	2	2	
	統計の数理Ⅰ	2	1	必修
	統計の数理Ⅱ	2	2	
	調査設計論	2	3	
	多変量データ解析	2	2	
	統計モデリングⅠ	2	2	
	統計モデリングⅡ	2	3	
	応用統計学Ⅰ	2	2	
	応用統計学Ⅱ	2	3	
	データ解析演習Ⅰ	2	3	必修
	データ解析演習Ⅱ	2	3	必修
	データマイニング	2	3	
	機械学習	2	3	
	データ可視化法	2	3	

分類	科目名	単位数	履修年次	卒業要件
専門科目	ビッグデータ解析	2	3	
	計算機統計学	2	3	
	計算機概論	2	2	
	情報理論	2	2	
	アルゴリズム論	2	2	
	組合せ論	2	2	
	非構造化データ	2	3	
	数値解析	2	3	
	計算機数理	2	3	
	最適化理論	2	3	
	並列分散処理	2	3	
	臨床研究・疫学入門Ⅰ	2	2	
	医療統計学	2	2	
	臨床研究・疫学入門Ⅱ	2	3	
	計量経済学モデリングAⅠ	2	2	
	計量経済学モデリングAⅡ	2	3	
	計量経済学モデリングB	2	2	
	金融時系列モデリング	2	3	
	サンプリング法	2	2	
	自然科学モデリング	2	2	
	量子計算モデリング	2	3	
	特講	2	2	
	専門領域演習Ⅰ	2	3	必修
	専門領域演習Ⅱ	2	3	必修
卒業研究Ⅰ	4	4	必修	
卒業研究Ⅱ	4	4	必修	

教職専門科目（教員免許状取得のための科目）

科目名	単位数	履修年次	備考
教師論	2	1・2・3・4	必修
教育史・教育思想	2	1・2・3・4	
教育心理学	1	1・2・3・4	
特別支援教育	1	2・3・4	
教育制度論	2	1・2・3・4	
教育課程論	2	2・3・4	
数学科教育法Ⅰ－1	2	2・3・4	中学校の免許状を取得する場合のみ8単位必修
数学科教育法Ⅰ－2	2	2・3・4	
数学科教育法Ⅱ－1	2	2・3・4	高等学校の免許状を取得する場合4単位選択必修
数学科教育法Ⅱ－2	2	2・3・4	
道徳教育論	2	2・3・4	中学校の免許状を取得する場合のみ必修
教育方法・技術	2	1・2・3・4	必修
特別活動論（総合的な学習の時間の指導を含む）	2	2・3・4	
生徒指導・進路指導論	2	2・3・4	
教育相談	2	2・3・4	
教職実践演習（中・高）	2	4	
教育実習指導	2	4	
教育実習Ⅰ	2	4	
教育実習Ⅱ	2	4	